

日 時：平成 29 年 9 月 1 日（金） 10：00～12：30

場 所：日本薬学会 長井記念館 1 階 AB 会議室

出席者：別記 1

配付資料：別記 2

○報告事項

1. 実務実習支援 WEB システムの準備状況について

資料 1-1、1-2（実務実習支援 WEB システムの準備状況、実務実習支援 WEB システムの準備状況（回答））に基づき、オブザーバーとして出席された WEB システム検討委員会 木津委員長が説明した。2018 年度実務実習第 I 期よりトライアルを開始し、2019 年度実務実習第 I 期より運用開始できるように準備を進めている。また、WEB システムを開発している大学および開発企業を対象に 8 月にアンケートを実施し、開発状況や費用について確認した。

2. 改訂コアカリに基づく実務実習に向けて今後のスケジュール

8 月 29 日に日本私立薬科大学協会が開催した「改訂モデル・コアカリキュラムに基づく実務実習の構築に向けた確認会議」の抜粋資料（追加 2：改訂コアカリに基づく実務実習に向けて今後のスケジュール）に基づいて、伊東委員が説明した。平成 31 年度以降、第 I 期の実習は、各大学の進級判定前に開始となるため、各大学は対策を考えて欲しいと伊東委員が発言した。

近畿地区ではグループ化を進めているため、割振り時期が追加資料 2 と異なる。最終的に全地区で統一するところと、地区の裁量によるところを確認したいと橋詰委員が発言した。

文部科学省が各大学に調査を行った「4 期制における各実習期の割振り予定学生数」のうち私立薬科大学に関する調査結果（追加資料 1）を伊東委員が説明した。文部科学省前島氏から国公立大学の調査結果も纏まっているため、後ほど提供すると説明した。

日本私立薬科大学協会の確認会議で伊東委員と名城大学大津史子教授が説明した資料は席上にて回覧し、薬科大学協会事務局長の許可のもとに本日の出席委員が自由に利用できるようにメールで送信する。

3. トライアル実習の拡大について（日本薬剤師会より）

日本薬剤師会より資料（改訂カリキュラムに関するトライアル実習の拡大について）と DVD が追加配付された。改訂モデル・コアカリキュラムに基づく実習への円滑な移行のために、トライアル実習を全国的に拡大する。永田委員から、各地区調整機構に協力依頼があった。なお、改訂モデル・コアカリキュラムに基づくトライアル実習の評価を学生の本評価とすることについては、各大学の意向を踏まえて判断する必要があると前島氏が発言した。

また、日本病院薬剤師会においては、トライアル結果のフィードバックをウェブサイトから集めていると石井委員が報告した。

4. 平成 29 年度第 I 期実務実習実施状況・実務実習の良い事例の報告

平成 29 年度第 I 期実務実習に関わる各地区の報告書（資料 2）および、平成 29 年度第 I 期実務実習の良い事例報告書（資料 3）を事前に中央調整機構委員会委員へ配付した。

資料 2 に関連して、複数店舗を認定実務実習指導薬剤師が兼任しているような場合は、日本薬剤師会が注意喚起すると永田委員が発言した。

資料 3 について、本委員会では本報告書の内容について、特段の報告や意見は出されなかった。

5. 平成 28 年度実務実習実施結果、平成 29 年度在籍者数

資料 4-1（平成 28 年度実務実習実施結果）および資料 4-2（平成 29 年度在籍者数一覧）に基づき、望月代表理事が報告した。また、これらの資料を参考とし、地区調整機構と大学が協力して、ふるさと実習を積極的に行ってほしいと発言した。

6. 連絡会議関連

- ・平成 31 年以降の実習施設割振りに向けた具体的方策など、連絡会議に向けた報告を準備し、9 月 29 日とされた提出締切に間に合うように薬学教育協議会事務局に報告するよう依頼した。

7. 日本私立薬科大学協会による実務実習アンケートについて

日本私立薬科大学協会が実施した実務実習アンケート（資料 6）を事前に中央調整機構委員会委員へ配付した。11 月 2 日までに各地区での対応を事務局に報告することになった。

8. 東京薬科大学に関する問題の報告

検討を続けているが、まだ問題は解決していないと望月代表理事が報告した。

○協議事項

1. 本部から地区への補助金について

資料 7（本部収支まとめ（平成 24～28 年度および平成 29 年度予算））に基づき、望月代表理事が本部の収支が厳しい現状であることを説明し、地区調整機構への会議費 2 回分の補助を、1 回分に減額したいと提案した。会費を上げてもらうわけにはいかないのかとの意見が出されたが、望月代表理事は、現段階では会費の値上げは難しいと答えた。地区調整機構への会議費の補助を、来年度から 1 回分に減額する案が承認された。また、本部は人件費削減のため来年度から事務局 3 人から 2 人体制とすることを検討していると望月代表理事が発言した。これに対して、業務に支障はないのかとの質問があった。

2. 連絡会議関連

① ふるさと実習の推進策（エントリー時期、回数等）

資料 8-1（第 32 回病院・薬局実務実習中央調整機構委員会議事録 抜粋）のとおり、ふるさと実習のエントリー開始時期と調整回数について、全国统一することで一致しているが、統一に向けた具体的な提案はできていない。

地区調整機構としては、どうしても自分の地区が優先になってしまうとの意見が出された。また、学生からは、宿舍の問題や、交通の便が悪い、都心の方が実習が出来る、等の意見が出されている。学生にとって、ふるさと実習が有益であることをアピールする必要がある。そのために、ふるさと実習（出身地実習）を行った学生から良い事例を調査してはどうか、交通の便が悪い場合はサポートすることは可能か等の意見が出された。

② 良い実習の事例集の取り扱い／質の高い実習施設であることを表示する仕組みについて
平成 28 年度実務実習の良い事例を、資料 8-2（平成 28 年度実務実習の良い事例集）のようにまとめた。連絡会議に報告する資料の一部である。また、地区調整機構から施設等に配付し参考にしてもらう。また、質の高い実習施設であることを表示する仕組みについては、関東地区では、良い実習を行った施設には総会で実習内容を紹介してもらうことを検討していると、伊東委員が報告した。

3. 実務家教員の実態調査（アンケート調査）について

遠藤委員から、実務家教員の実態が分からないので、毎年 1 回調査を行った方が良いとの意見が出されていた。協議の結果、調査を薬学教育協議会が実施することになった。なお、調査項目については、遠藤委員、石井委員、田尻委員、永田委員に作成を依頼した。

4. その他

① 実務実習の広報用ポスターについて

来年度のポスターは日本薬剤師会に協力を依頼し、山本会長に快諾いただいたと望月代表理事が報告した。

② 実習におけるワクチン接種について

実習施設によっては、抗体検査について、薬学教育協議会のウェブサイトに掲載している基準よりも厳しい内容を求める場合がある。必要に応じて、一般社団法人日本環境感染学会から出されている「医療関係者のためのワクチンガイドライン」を参考にするよう内容を改め、周知することになった。

③ 8 疾患の取り扱いについて

地区調整機構において実施計画書を作成する場合、8 疾患に関する見解も含めた計画書を作成すればよいのではないか。また、病名だけではなく、患者ごとの服薬指導を理解することが重要であると伊東委員が発言した。

④ 日本薬剤師会からの連絡事項

資料 9（ポスター公募について）のとおり、日本薬剤師会特別会員（学生会員）募集ポスターについて周知の依頼があった。

以上

別記1 第34回病院・薬局実務実習中央調整機構委員会出席者名簿

所属	出席者名 (敬称略)	出欠
北海道地区調整機構	宮本 篤	○
東北地区調整機構	工藤 賢三	○
関東地区調整機構	伊東 明彦	○
	吉山 友二	○
	須田 晃治	○
北陸地区調整機構	新田 淳美	欠
	高野 克彦	代理
東海地区調整機構	脇屋 義文	○
近畿地区調整機構	橋詰 勉	○
中国・四国地区調整機構	手嶋 大輔	○
	島田 憲一	○
九州・山口地区調整機構	原 周司	○
日本薬剤師会	田尻 泰典	○
	永田 泰造	○
日本病院薬剤師会	遠藤 一司	○
	石井 伊都子	○
日本保険薬局協会	原 正朝	○
WEB システム検討委員会委員長 (オブザーバー)	木津 純子	○
薬学教育協議会本部	望月 正隆	○
	増野 匡彦	欠
	阿刀田 英子	○

文部科学省高等教育局医学教育課	前島 一実	○
	福村 基徳	○
厚生労働省医薬・生活衛生局総務課	紀平 哲也	○
	安川 孝志	○
	上野 友貴奈	○

別記 2 配付資料

- 資料 1-1 : 実務実習支援 WEB システムの準備状況
資料 1-2 : 実務実習支援 WEB システムの準備状況 (回答) *要回収
資料 2 : 平成 29 年度第 I 期実務実習に関わる各地区の報告書
資料 3 : 平成 29 年度第 I 期実務実習の良い事例の報告書
資料 4-1 : 平成 28 年度実務実習実施結果
資料 4-2 : 平成 29 年度在籍者数
資料 5-1 : 次回連絡会議に報告すべき事項
資料 5-2 : 平成 30・31 年度実務実習実施日程
資料 6 : 日本私立薬科大学協会による実務実習アンケート
資料 7 : 本部収支まとめ (平成 24~28 年度および平成 29 年度予算)
資料 8-1 : ふるさと実習について
(第 32 回病院・薬局実務実習中央調整機構委員会議事録 抜粋)
資料 8-2 : 平成 28 年度実務実習の良い事例集
資料 9 : 「日本薬剤師会特別会員 (学生会員) 募集ポスター公募について」

(日薬総発第 18 号)

第 33 回病院・薬局実務実習中央調整機構委員会議事録

追加資料 1 : 4 期制における各実習期の割振り予定学生数

追加資料 2 : 改訂コアカリに基づく実務実習に向けて今後のスケジュール

(私薬大協確認会議資料抜粋)

日本薬剤師会からの追加資料 : トライアル実習について